



伊勢原市協働事業提案書



伊勢原市長 殿

住 所 
団体名 春いろフェスタ実行委員会
代表者氏名 笠原 美香 

伊勢原市市民協働事業提案制度実施要綱第6条の規定により、次のとおり提案します。

提案区分	☒ 市民提案型協働事業 ☐ 行政提案型協働事業
協働事業名	第7回 春いろフェスタ
添付資料	(1) 団体概要（第2号様式） (2) 協働事業実施計画書（第3号様式） (3) 協働事業収支予算書（第4号様式） (4) 規則、定款、規約、会則その他これに準ずるものの写し (5) 会員、構成員の名簿の写し (6) 前年度の活動報告書及び収支決算書の写し

第2号様式（第6条関係）

団 体 概 要

令和元年 7月 31日現在

団 体 名	春いろフェスタ実行委員会	
所 在 地		
代 表 者	笠原 美香	
設 立 年 月	平成24年 1月	
会員の状況	会員 7人（うち伊勢原市民 4人） 5人以内で 10人以上は 不可	
業 務 内 容	雨岳文庫(山口家住宅)はじめ周辺の魅力をお伝えする。ここから伊勢原を元気にする。 老若男女、誰でも参加してもらう事で伊勢原市内外のいろいろな人との ご縁つなぎの場としてまた団体、サークルなどの活動の発表の場として活用してもらう。 来場されたみな様に楽しんでもらい、笑顔の溢れる活気に満ちたフェスにする。	
主な公益活動 の 実 績	平成24年より今まで第6回まで開催	
連絡担当者	氏名	笠原 美香
	所属	3彩みかまんま
	電話	
	FAX	
	e-mail	

協働事業実施計画書

協働事業名	第7回春いろフェスタ
事業の目的	雨岳文庫(山口家住宅)の魅力を伝え伊勢原の歴史や文化に親しんでもらう 広くどなたでも参加していただきいろいろな方々とのご縁をつなげる。 来場した皆さんが楽しく笑顔溢れる活気に満ちたフェスを開催することで ここから伊勢原を元気にする。
事業内容	イベント・オープニングセレモニー・クルリンショー・ 子ども科学館シャボン玉 ステージ・市内で活動している団体を中心にダンスや演奏など活動の発表。 フリーマーケット・グルメ・手作り品・古布・物販など 家屋の案内・歴史散策・周辺のみどころ紹介
スケジュール	春いろフェスタ2020年 2月29日・3月1日 (会場準備日 2月28日)
協働の効果	市と実行委員会が協働することで、市の持つ団体情報等を活用しながら、 多くの市民活動団体の力を集約した多方面の活動発表の場を作り上げる ことができる。
役割分担	(市民活動団体の役割) ・事業の総括 ・事業の企画、運営 ・フェスタへの参加団体の募集等の調整 ・チラシの作成と配布
	(市の役割) ・市の広報やホームページでの活動等の事業の周知 ・市後援名義の承認 ・事業実施のための助言、指導

第4号様式（第6条関係）

協働事業収支予算書

協働事業名	第7回春いろフェスタ
団 体 名	春いろフェスタ実行委員会

収入の部

区 分	見 積 額 (円)	積算根拠 (数量、単価等)
春いろ参加団体負担金	56,000	@1,000/日×延べ日数50団体 @3,000/日×延べ日数2体
前年度繰越金	41,221	前年度からの繰越金
収入合計額	97,221	

支出の部

区 分	見 積 額 (円)	積算根拠 (数量、単価等)
会場使用料	20,000	雨岳文庫謝礼 20,000 (電気・水道料込み)
消耗品	12,000	トイレットペーパー、石灰、ロープ
チラシ	55,000	宣伝ビラ
事務用品	5,221	コピー、パウチ、模造紙、テープ
通信費	5,000	ハガキ・切手
支出合計額	97,221	

「第7回春いろフェスタ」実施に関する協働事業協定書

伊勢原市(以下「市」といいます。)と春いろフェスタ実行委員会(以下「フェスタ実行委員会」といいます。)は、「春いろフェスタ」(以下「事業」といいます。)の実施に関し、次のとおり協働事業の協定を締結します。

1 事業の目的

雨岳文庫を会場としその魅力を伝え、多くの市民活動団体の力を集約した多方面の活動発表の場を作り上げるとともに、多くの市民との交流を楽しみ、遠来のお客様に多くの伊勢原の良さを感じていただくため本事業を実施します。

2 協定の目的

本協定は、事業の実施にあたり、市とフェスタ実行委員会との間の関係や役割分担、相互協力の内容などを定めるものです。

3 協働に関する原則

市とフェスタ実行委員会とは、協働の精神に基づいて、お互いに次の原則を遵守します。

- (1) お互いが対等かつ協力的な関係を保つよう心がけます。
- (2) お互いの立場を理解・尊重し、自由に意見を交換できる関係をつくります。
- (3) お互いの活動を理解し、その主体性・自主性を尊重します。
- (4) 個人情報の保護に考慮しながら、協働の過程や結果等の情報を公開し、市民の理解を得るよう努めます。
- (5) 多様な市民の意見を集め、中立性・公平性を担保します。
- (6) 一定の時期に事業の効果を検証・評価し、改善を行うとともに、事業の継続の可否についても検討します。

4 役割と責務

(1) 市の役割と責務

ア 情報提供

市は、フェスタ実行委員会に対し事業の実施に必要な情報の収集、提供及び公開をします。

イ 分担業務

- i 市広報やホームページにより活動等の事業周知を行います。
- ii 市後援名義の使用を承認します。
- iii 本事業開催にあたって、助言や指導、アドバイスをを行います。

ウ 報告書に関すること。

市は、フェスタ実行委員会が作成した報告書等の内容を真摯に検討し、市政に生かすよう努めます。

(2) フェスタ実行委員会の役割と責務

ア 情報提供

フェスタ実行委員会は、市に対し事業の実施に必要な情報の収集、提供及び公開をします。

イ 分担業務

- i 事業の目的を達成するため、運営・実行して事業を総括します。
- ii 事業の企画、運営を行います。
- iii 事業への参加団体の募集等、調整を行います。
- iv チラシの作成と配布を行います。

ウ 情報公開

フェスタ実行委員会は、事業実施の経過・内容・成果などについて、より多くの市民の目に触れるように広く一般に情報公開や情報提供をします。

エ 個人情報の保護

フェスタ実行委員会は、事業を実施する上で知り得た情報のうち、プライバシーに関するものなどについては、市の個人情報保護条例に基づいて個人情報の保護を行います。

5 相互の連絡調整

市とフェスタ実行委員会は、相互の連絡調整を円滑に行うため、適宜、連絡調整会議等を開催して協議します。

6 協定の有効期限

本協定の有効期限は、令和2年3月31日までとします。

7 事業の評価等

市とフェスタ実行委員会は、事業の実施後に事業の評価を行います。

8 その他

本協定に定めのない事項で、事業を実施する上で必要と認められるものについては、市とフェスタ実行委員会が協議して定めるものとします。

令和元年 9 月 11 日

(市)

伊勢原市田中348番地

伊勢原市長 高山 松太郎

(市民活動団体)

春いろフェスタ実行委員会

代表 笠原 美香